

医療救護NPOに融資

阿波銀 徳島県と災害時協定

阿波銀行は3日、徳島県、国際医療援助のNPO法人アムタ（AMDA、岡山市）と医療救護活動に関する協定を結んだ。

南海トラフ巨大地震などで県内に被害が出た場合、県の要請で医療救護活動にあたるAMDAに活動費を融資する。県民の安全・安心の確保に向けて協力を進める。

AMDAは県と協議

阿波銀行は救護活動に必要な経費について要請をつけた場合、短期の融資枠3000万円の範囲で優先的に融資する。

際、県の救護班の派遣要請に基づき、AMDAは全国各地から医師や看護師を集め、医療機材を調達したうえで救護活動にあたる。

総合防災訓練に参加した。AMDAは1984年設立。医師約140人、看護師約180人などおよそ400人が緊急救護活動要員として登録している。東日本大震災など国内外の災害医療支援で実績がある。

大規模災害が発生した